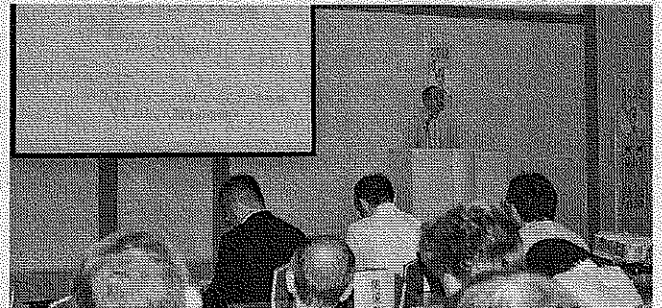


2012年(平成24年)8月29日 水曜日

岐 阜 新 聞

公共交通政策の意義探る

県不動産鑑定士協会 岐阜市で市民講座



地域公共交通政策の意義などについて話す竹内伝史さん—岐阜市橋本町、じゅうろくプラザ

「ひだ みの まちづくり市民フォーラム」第4回市民公開講座(県不動産鑑定士協会、県主催、岐阜新聞・岐阜放送など後援)は28日、岐阜市橋本町のじゅうろくプラザで開かれ、参加者がテーマの「地域公共交通計画とまちづくり」について考えた。

同講座は、同協会が2010年から不動産鑑定に関わる、県民の関心が高い内容をテーマに開催。今回は、ぎふ清流国体・ぎふ清流大会を応援しようと県と共催し、会員をはじめ、県内の行政、建築

・建設業、まちづくり関係者ら計約200人が参加した。岐阜大学名誉教授の工学博士竹内伝史さんが基調講演。「市町村が行う地域公共交通政策の意義は、運輸業者の経営改善ではなく、市民の足を守ること。車社会の中で、人々の交流に根差したまちづくりが重要」などと話した。

県公共交通課と岐阜市交通総合政策課の担当者による施策紹介などもあり、参加者が具体的な事例について理解を深めた。

(井上愛)